

アルミ輸入、全額に増加する

輸出は新地金とスクラップが減少

橋本金属
・アルミ橋本健一郎氏リポート②



橋本健一郎氏

六月前半は、五月の米A
D P民間雇用者数は二五・
三万人増、予想の一八・五万
人増を上回る、五月の米I S
M製造業景況指数は五四・
九に上昇、予想の五四・八を上回る、アラブ諸国
とカタールとの断交によりカタールのアルミ供給
減が懸念—などのプラス材料もあったが、五月の
米I S M非製造業景況指数は五六・九に低下、
予想の五七・二を下回る、五月の中国自動車販売
台数は前年比〇・一%減の二一〇万台、二カ月連
続のマイナスは二〇一五年以降で初だったことか
らL M Eアルミ相場はDOWN、六月十五日時
点で、八九一ドル(現物後場買い)と月初価格
から三〇ドルDOWNの前半締めとなった。

後半は米上院共和党が医療保険制度改革法
(オバマケア)の代替法案の採決を七月以降に先送
りすると発表、税制改革など景気刺激策の審議
が遅れるとの見方や、O P E C加盟国であるリビ
アやナイジェリアが増産していることから世界的な
供給過剰が払しょくされないとの不安感—などの
マイナス材料もあったが、W B M Sは今年一、四
月の世界アルミ需給を六八・三万トンの供給不足
と発表、前年同期は一〇九・六万トンの供給不足
だったこと、中国国家统计局の五月の中国主要七
〇都市新築住宅価格が前月比〇・七%UPと規
制強化にも関わらず堅調だったことを好感しL
M Eアルミ相場はUP、七月四日現在で、九
一七ドル(現物後場買い)と後半スタート価格か
ら四六ドルUPしてのスタートとなった。

◆月間のドル/円レート(T T S)
一一・七三→一一・三二(円)。
◆自動車生産台数
日本自動車工業会によると、自動車生産台数は
前年比五・五%増の六九万三、〇二三台であった。
◆自動車販売台数
日本自動車販売協会連合会によると、自動車
販売台数(軽除く)は前年比九・七%増の三二万
五、七四四台。

◆新設住宅着工戸数
国土交通省統計によると、新設住宅着工戸数
は前年比〇・三%減の七万八、四八一戸であった。
◆貿易関連指標
輸出

財務省貿易統計によれば、輸出はアルミ新地
金が前年比三七・五%減の九八七、二次合金が
三六・六%増の二、二九一七、スクラップが一八・

六%減の七、七七五t、アルミ缶が一・五%増
の五、七〇四t。

輸入

輸入は新地金が前年比一一・九%増の一四万四、
八四二t、二次合金が一九・〇%増の一〇万六、
七八四t、スクラップが三七・六%増の六九一t、
合金スクラップは四三・九%増の三、八八二t。

■前月の国内指標

日本アルミニウム協会発表の庄延品の生産出
荷動向によれば、板類・押出生産合計は前年比
三・八%増の一七万六、三〇〇tと、七カ月連
続プラス。

日本アルミニウム合金協会発表のアルミニウム
二次合金・同合金地金等生産実績は、前年比〇・
〇四%減の六万〇、六八四tであった。

■概況

【自動車生産】

五月の四輪車生産台数は六九万三、〇一三
台で前年同月比五・五%増となり、八カ月連続
で前年同月を上回った。

輸出は三二万〇、二五五台で前年同月比五・
八%の増加。

【自動車販売】

六月の国内自動車販売台数(軽は除く)は三
一万五、七四四台で前年比九・七%増と、一
カ月連続プラス。

このうち、乗用車一〇・三%増、貨物五・六%
増、バス二・八%増。

【住宅着工数】

平成二十九年五月の住宅着工戸数は七万
八、四八一戸で、前年同月比〇・三%減となっ
た。また、季節調整済年率換算値では九九・
八万戸(前月比〇・六%減)となった。

・住宅着工の動向については、前年同月比
で三カ月ぶりの減少となっており、利用関係
別にみると、前年同月比で持家、貸家は増
分譲住宅は減となった。

・引き続き、今後の動向をしつかりと注視
していく必要がある

(持家)

前年同月比では二カ月連続の増加(前年同
月比一・五%増、季節調整値の前月比では二・
九%増)。

(貸家)

前年同月比では一九カ月連続の増加(前年
同月比一・六%増、季節調整値の前月比では
〇・七%増)。(六面へ続く)

国内スクラップ市況は下落傾向に

(四面より続く)

(分譲住宅)

前年同月比では先月の増加から再びの減少
(前年同月比三・九%減、季節調整値の前月比
では五・七%減)。

・分譲マンション

前年同月比では先月の増加から再びの減少
(前年同月比二一・六%減)。

・分譲一戸建住宅

前年同月比では一九カ月連続の増加(前年
同月比四・五%増)。

【アルミニウム二次合金・同合金地金等生産実績】

前年比〇・〇四%減の六万〇、六八四tと
七カ月ぶりマイナス、出荷は〇・五%増の六
万〇、八五四tと四カ月連続プラス。このう
ち、出荷先別では、鋳物四・九%増、ダイカ
スト二・二%減、板〇・〇%、押出一二・六
%増、鉄鋼四・〇%増、合金地金メーカー一
〇%増。

【アルミ圧延・押出品生産量】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産
出荷動向によれば、板類・押出生産合計は前
年比三・八%増の一七万六、三〇〇tで、七
カ月連続プラス。

板類は生産が七カ月連続でプラス、出荷は
三カ月連続でプラス。

押出類は生産・出荷ともに七カ月連続でプ
ラス。

【輸出】アルミ新地金が前年比三七・五%
減の九八t、二次合金が三六・六%増の二、
二九一t、スクラップが一八・六%減の七、
七七五t、アルミ缶が一・五%増の五、七
〇四t。

【輸入】アルミ新地金が前年比一一・九%増の
一四万四、八四二t、二次合金が一九・〇%増
の一〇万六、七八四t、スクラップが三七・六%
増の六九一t、合金スクラップが四三・九%増の
三、八八二t。

【見通し】

・自動車は生産が五・五%増。国内販売台
数が前年比九・七%増。生産が八カ月連続プ
ラス、販売も一カ月連続プラス。生産、販
売共に増加しており今後期待。

・住宅着工の動向については、前年同月
比で〇・三%減と前月の微増から再び微減に
なっており、下げ止まり傾向かどうか今後
の動向に注目。

・アルミ圧延・押出品生産数

板類・押出生産合計は前年比三・八%増の
一七万六、三〇〇tで、七カ月連続プラス。

今後も期待。

・アルミニウム二次合金・同合金地金等生
産実績

前年比〇・〇四%減の六万〇、六八四tで
七カ月ぶりマイナス。

出荷は〇・五%増の六万〇、八五四tで四
カ月連続プラス。

微減ではあるが二次合金生産量が七カ月
ぶりにマイナスに。今後の動向に注目。

・アルミ輸出は内需用途から全体に減少、
アルミ缶は韓国への輸出から増加。

アルミ輸入は輸入塊の価格下落を受けて
増加。

【価格・為替予想】

今月は中国秋の指導部交代に向けての経
済対策、オバマケア代替法案審議を含む米
議会の捻れの動向に左右される。

秋の中国指導部交代に関しては、金融引
き締めの緩和や新たな送電線計画が発表さ
れるなど、経済の安定をねらった政策が今
後も発表されるのではないかと。

米議会に関しては、経済界には辺りがい
いものの、肝心の白人中間層のトランプ政
策離れが進んでおり、一層ねじれが進むの
ではないかと。

それらを踏まえた七月のアルミ価格は、
指導部交代に向けた 景気対策が新たに発
表され、オバマケア代替法案が議会を通過
した場合、六月高値の二、〇〇〇ドルを予
測。いずれかの場合は一、九〇〇ドル。下
値はいずれの条件も達成できなかった場合、
五月一段安値の一、八〇〇ドル。
為替は、NYダウの高値更新と英国の
ユーロ離脱関連に左右される。

NYダウは好調な米経済を受けて、今月
はさらに高値更新するのではないかと。英国
の離脱関連はそろそろ現実味を帯びた発表
がなされており、ユーロ安ドル高がすすむ
のでは？

それらを踏まえ予測は、NYダウが最高
値を更新し英国のユーロ離脱関連でマイナ
ス材料がなかった場合、高値は六月後半高
値一段高の一〇〇円台(TTM)を予測。い
ずれも行われなかった場合、同安値の一
四円台を予測。

ただし、四月頃から安い輸入塊が入港さ
れており、国内スクラップ価格は相場とは
裏腹に下落傾向。

スクラップ購買価格に関しては五円安く
一〇円安程度と予測している。